

その対策の現状(兵庫県、明石、芦屋市、神戸市)

兵庫県では侵入を想定して数年前から事前に「関係者の研修会」や「防除対策指針」を作成し備えており、発生初期の防除対策資材の備蓄や、一部啓発チラシの配布も実施していました。今回、成虫発見の第一報を受けてからこれらの機能が有効に働き、県内関係機関への通達や初期対応が迅速に行われ、特にフラスの判定については PCR 検査を導入して判定のスピードアップが図られました。第一発見者への感謝状贈呈も行われています。明石市では、発見翌日から全域での成虫、フラス調査を連日実施、市民や高校生、子供さんの協力も得て 8 頭発生地で捕獲しました。その後、8 月にフラスも確認、PCR 検査の結果陽性となり、トリアージを行い、被害木 20 本の幼虫捕殺や重度被害木 6 本の伐倒処分を実施。この現場での調査の結果、幼虫のサイズ等から 2021 年に既に産卵されていたことが判明しました。

芦屋市ではフラスの発見情報により調査、PCR 検査で陽性となり、全市の公園、街路樹を調査の結果、茶屋の町、公光公園、川西町の 3 カ所で 7 本フラスが確認されました。特に公光公園の被害木 1 本は大量のフラスと脱出孔が確認され、被害拡散防止の為伐採、焼却処分となりました。伐採当日は、毎年綺麗な花で公園を訪れる人々の目を楽しませてくれた桜を、近隣の園児や市民の方々が見送っておられました。残った切り株は覆土し、防草シートで被覆して切り株からの脱出を防止。残った軽度の被害木の桜は、樹幹注入や専用ネットを巻いて観察を続けています。

神戸市でも成虫やフラスを確認した地域の調査が続けられており、被害木は順次処置をされています。

西宮市、明石市で実施している防除対策



エアゾール剤注入

樹幹注入

防虫ネット巻き

根株処置



伐採状況(公光公園)

捕殺作業(公光公園)

捕殺した幼虫(公光公園)

桜の花見が出来なくなるかも知れません

全国の被害発生都府県では更に被害地域が拡大して、公園や街路樹の桜や果樹園のモモの「被害木の伐採が日常的にみられる状況」となっています。大阪では桜が全て無くなった公園もあります。兵庫県内でこれ以上「生きた桜を切る残酷な状況」が見られないようにするため市民の皆様の協力が不可欠です。このクビアカ被害はエサとなる桜のある限りエンドレスに続きます。早期に成虫やフラスを発見していただくことにより、初期防除が可能で、「拡散は防げないが、被害を最小限に抑制」出来ます。

西宮市、芦屋市周辺は大事に護られてきた桜の名所が多く、四季を通じて市民の目を楽しませてきています。この貴重な日本の心の風景を後世に引き継いでいくためにも、フラスや成虫を多くの目で見つけていただくことが重要となります。

フラスの排出は 3 月頃～10 月まで、成虫は 6 月中旬～8 月初旬までが見つかるポイントです。発見した場合(成虫は捕殺してから)、お近くの市役所担当窓口までご連絡下さい。

発見した場合の連絡先は

兵庫県：兵庫県環境部自然・鳥獣共生課 078-362-3389

西宮市：西宮市花と緑の課 0798-35-3039

芦屋市：芦屋市街路樹課 0797-38-2727

このクビアカツヤカミキリの原稿は芦屋市で発生したことを受け、近隣市に広がるのを何とか食い止めたいという思いから樹木医である宗實様に原稿を依頼しました。全国での発生や現在の状況、また芦屋市での伐採に至る経緯など書いていただいたものです。クビアカツヤカミキリの件でお忙しく動き回っている中でのご寄稿に感謝いたします。(事務局)